

平成 26 年度 森林動物研究センターシンポジウム(2015.02.21)

－ 開催結果報告 －

1 来場者数

195名

2 アンケート調査の結果 (一部抜粋)

2-1) 次回以降に取り上げてほしい内容

- ・外来種の生息状況と問題と対策について (17件)
生息状況や生態系への影響について、どこまで分かっているのか、根絶への取り組み、拡大防止・防除対策 など
- ・捕獲した動物の有効利用について (5件)
処理施設、利用への取組み例 など
- ・都市部での鳥獣害対策について (4件)
神戸市イノシシ問題、対応や追い払いかた、管理の方法 など
- ・森林回復について (4件)
回復の手法、里山保全を生かした総合的な手法、森林ボランティアとの連携の可能性、樹種の特徴を生かした植林手法の開発 など
- ・シカによる林業被害について (3件)
現状、対策 など
- ・人材育成について (2件)
専門員の人材育成、集落・人対策 など

2-2) 意見・感想

意見

シンポジウムについて

- ・食肉としての衛生、ダニの予防などについては、5～10分間時間を用意して講演した方が良い。
- ・パネルディスカッションでの取り上げる質問を考えて欲しい。
- ・会場が県南部なので、県中央部に変更できないか。県庁の近くも交通の便が良い。
- ・ネットで動画を配信してほしい(資料映像など)

研究内容について

- ・森林と動物の調整を考えて欲しい。
- ・クマの放獣はしない。地元との同意が取れない。殺処分してほしい。
- ・他府県とのつながりについて、生息域が他府県に及ぶことはあるのか。
- ・データの内容が薄いと感じた。

感想

- ・ほぼ満席であった。全国のモデルケースとして発信してほしい。
- ・最新の情報に触れることが出来て有意義であった。
- ・パネルディスカッションで言われた「嬉しかった言葉」がもらえるように励みにして頑張ります。

2-3)各話題に対するコメント

1. 藤木主任研究員

- ・モデルの予測と対策の実践効果がうまくリンクしているのが興味深かった。
- ・兵庫県では、シカの個体数は減りつつあるということを知った。
- ・保護に関する話をもっと聞きたかった。
- ・シカが増えている県境付近での取り組みなどをもっと知りたい。
- ・参考になった。捕獲以外の対策の状況があればもっと良かった。

2. 中村研究員

- ・豊凶と目撃件数がクリアに対応しており面白かった。目撃件数が何の指標なのか分からなかった。
- ・食性についてももう少し知りたかった。繁殖生理には感動した。
- ・近隣都府県の情報が無いと分析が難しい。
- ・凶作豊作との関係が良く分かりやすい説明だった。
- ・そもそも予想されていたことではなかったか？もっと推察が欲しかった。

3. 鈴木研究員

- ・ニホンザルによる被害防止に電気柵等を使い、入ったらどうなるか思い知らせることが必要と分かり面白く思った。
- ・特定の範囲に群れで定住する動物ならではの対策のお話は初めて聞いたので面白かった。
- ・地域住民による自主的な防護体制が根付いてきていることが重要。
- ・管理は理解できた。保護は？追い払うことが保護になるのか、そこが知りたかった。

4. 横山主任研究員

- ・マダニの話がためになった。
- ・資源活用の留意点が参考になった。
- ・食べて減らす以外の対策はないのだろうか気になった。
- ・これまでの取り組みが成果を上げていること、今後の課題が明示されて良かった。
- ・捕獲の季節が変えられないと利用が難しいものもある。

5. パネルディスカッション

- ・各種個別の対応策だったが、体系的に考えられないか。
- ・各項目について踏み込んだ Q&A がなされていて良かった。
- ・コーディネーターは第三者が良いのではないかと手前みそ的。
- ・淡路島のシカの数・分析には違和感がある。もっと多いような気がするし、北上しているのでは。